

2023

10.18 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_eDp56YG7R8qc58TtN8EnRw](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_eDp56YG7R8qc58TtN8EnRw)

【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

# 食の欧米化とともに変化する アジア人の腸内フローラと健康

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

腸内フローラ

アジア

食

健康

中山 二郎 教授

九州大学 農学研究院 生命機能科学部門

1989年東京大学大学院農学系研究科修士課程を修了し、同年より、同学農学部農芸化学科助手、2001年九州大学大学院農学研究院微生物工学研究分野・助教授、2007年准教授、2020年教授に就任し現在に至っております。その間、1994年に東京大学にて博士(農学)を取得し、また、1998年から1999年までオランダ王国ワゲニンゲン大学微生物工学研究室に訪問研究員として留学しております。このオランダ留学中に、今回お話しする腸内細菌の研究を開始しました。特に、九州大学就任後に築いたアジア研究者とのネットワークを基に、Asian Microbiome Project を設立し、この10年間はアジア人の腸内細菌の研究に注力しております。

最近、ちまたでよく聞く「腸内フローラ」ですが、食と健康を仲介する第三の臓器とも言われ、その機能に皆さんの注目が集まっています。アジアに視野を広げると、国や地域特有の食文化があり、腸内細菌もそれぞれ特異的な働きをしていることが察せられます。しかし、アジアに欧米食が入り込み、国特有の食習慣が薄れるとともに、元来、特徴的であったアジア人の腸内フローラが欧米型に変わっていていることが浮き彫りになってきました。まさしく今、アジア人は腸内フローラの過渡期を迎えていると言えます。それでは、腸内フローラが変わると身体にはどのような影響が及ぶのか。そのことも含めて、本講演では解説したいと思っております。